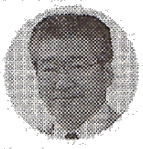
(第三種郵便物認可)　平成19年（2007年）2月23日　（金曜日）

加工流通に携わる『亥年の鉄屋衆』<下>

人生の節目、禁煙開始で健康に配慮

菱和鋼業・新本雄二社長



干支には「特別な気持ちはないですよ」としながらも、還暦を迎えたことには「（人生の）ひとつの節目ということなんでしょうね」と感慨深げ。

表面処理や酸洗鋼板をはじめとする薄板コイルセンターであり、首都圏でも店売り販売では有力どころとして名高い。とはいえ店売り市場縮小という商流変化の影響を被っており「直需開拓がテーマ」との認識は強い。

もともとヘビースモーカーではないものの「健康には気を配らなきゃ」と年初から禁煙を始めた。60歳の記念に「旅行も行きたい」との思いも。

（昭和22年6月21日生）

3回目の成人式、健康管理が最優先

五十鈴グループ・壁屋義昭専務執行役員

「還暦？実感は沸かないですね」。それよりも「3回目の成人式を迎えたとの感覚ですよ」。それだけ気が若い証拠だが、そこは60年間で刻まれた年輪がある。「単に『若さ』を強調するだけではなく『経験値』と融合させ、年齢の割には〝若々しい〟けど年齢に相応しい〝風格〟も備わっているという味を醸し出したい」。

需要環境に恵まれて活況なグループのコイルセンター群。一方で残念ながら昨年は労働災害が重なった。統括責任者として策を講じながらも「願掛け」で始めた禁煙は、いまも継続。「工場も自分も健康（安全）管理が最優先」と。

（昭和22年12月14日生）

初心を忘れずに積極的に猛進

中央鋼材・清水直樹常務（北進鋼材社長兼務）

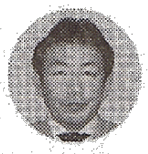
入社した昭和40年代前半は、折しもH形鋼が新商品として在庫販売され始めた時期。中央鋼材は川崎製鉄（現JFEスチール）のH形鋼（商品名「Hフレーム」＝当時）を扱ったが、営業活動に東奔西走した甲斐あって「6年連続H フレーム販売業績ナンバーワン」に。「本当に嬉しかった」と振り返る。

物件対応、空中戦…と今の鉄鋼流通業界は「商流の変化が激しい」ことを肌で実感。とはいえ「厳しい時代であっても、生き抜く術を模索しながら積極的に猛進していくと、60歳となってもなお、初心を忘れず意気軒昂に。

（昭和22年1月17日生）

仕事に、趣味にチャレンジ精神

根津鋼材・根津訓光社長



昨年12月に社長に就任。コイルセンター業界の次代を担う若きホープの一角。今年は「製造現場で『安全性と品質面の向上』には今まで以上に力を傾注する」との方針を掲げ、防護策の設置やシステム改良など具体化に乗り出した。一方、営業面では「これまで通り粛々と攻守のバランスを大切にしたい」と控えめだが、静かなる挑戦意欲を燃やしている風にもみえる。

干支を迎えたことには「何の感慨もないです」としながらも、この1年は「家族との時間は大切にしたいですね」。このほど生まれて初めてのスキーに挑んだ。これもチャレンジ精神の表れか。

（昭和46年1月24日生）

攻守に地道な努力復調へ気の緩なし

興和鋼業・鵜飼孝佳社長

「昨年2月。社長就任に水を差すように薄板の店売り市場が暗転。「浮かれずに済んでかえって良かったのかも」。経費削減を率先し、自らが範を示したことで「規模は小さくなったが、まとまりは強くなりました」。苦悩と模索の中で「何が何でも儲けなきゃ」から「損しなきゃいいじゃないか」に頭を切り替え、気負わなくなり「腹も据わりました」。

今年も「攻守に地道な努力を継続するしかない」と意を堅くする。業績も復調の兆しで「7合目まで辿り着きました」。ただ「ここからの登りがきついんですよね」と笑顔ながら気の緩みはない。

（昭和46年5月9日生）